

オール東京62市区町村共同事業 「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」

主催

- 特別区長会
- 東京都市長会
- 東京都町村会

企画・運営

- 公益財団法人 東京市町村自治調査会
- 公益財団法人 特別区協議会

オール東京 62 市区町村共同事業

「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」共同宣言

かけがえのない地球を守ろう ～一人ひとりの力をつないで～

私たちの暮らす東京は、人口 1,280 万人を抱える世界有数の都市でありながら、多摩の山並み、武蔵野の雑木林のみどり、伊豆諸島・小笠原諸島周囲の美しい海原など、多様な自然環境を有しています。

一方、東京は人口や経済活動が集積し、資源やエネルギーの大量消費地として CO_2 の大量排出、ヒートアイランド現象、森林の荒廃、海洋汚染などさまざまな環境問題にも直面しています。

特に暮らしと密接な関係にある CO_2 は、オフィスや家庭でのエネルギー消費量が増大し、京都議定書の発効から 2 年が経った現在でも、削減の兆しが見えない危機的状況にあります。

今こそ、私たちは、地球環境問題の被害者であり加害者でもあることを改めて認識し、一人ひとりの力をつないで、東京そして地球の環境を守るため、できることから行動するときです。

東京 62 市区町村は、かけがえのない地球を守るために、連携・共同して「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」を展開し、次の行動を起こすことを宣言します。

- 一、 CO_2 削減につながる活動の普及に努め、省エネルギーの促進、温室効果ガスの排出抑制を図ります。
- 一、 みどりの保全と地球温暖化防止対策を推進するための連携体制を構築します。
- 一、 人々が、環境を考え、行動できる場を作ります。

2007 年 10 月 3 日

オール東京 62 市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」とは

オール東京 62 市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」は、「地球温暖化防止特別区共同事業」と「市町村共同事業 みどり東京プロジェクト」を一体化し、東京の自然環境の保護、地球温暖化の防止を目的に、平成 19 年度にスタートした事業です。

平成 19(2007)年 10 月に発表した「みどり東京・温暖化防止プロジェクト共同宣言」に基づき、東京の 62 市区町村が共同してさまざまな事業に取り組んでいます。62 市区町村の共同の輪を大きく広げることによって、各自治体や地域の特性に応じた自然環境の保護、地球温暖化対策を推進します。また平成 21(2009)年 2 月には、「レジ袋削減に関する共同アピール」を発表しました。

平成 23 年度「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の取り組み

共通啓発物品の作成・配布

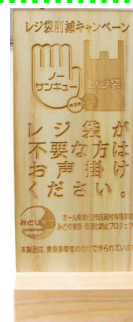


「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の普及、地球温暖化防止を図るため、グリーンカーテン用のタネ（ゴーヤ）とクリアファイルを各市区町村に配布しました。

温室効果ガス標準算定手法の共有化推進

平成 23 年度に島しょ部の算定手法も確立したことから、「62 市区町村共通版温室効果ガス標準算定手法」により、62 市区町村全ての温室効果ガス排出量を算定し、公表しました。

レジ袋削減キャンペーン



「レジ袋削減に関する共同アピール」に基づき、レジカウンター設置用スタンドを配布し、レジ袋削減に向けた普及・啓発を実施しました。

みどり東京・温暖化防止プロジェクト助成金交付

市区町村が実施する自然環境保護、地球温暖化防止対策事業に対して、各団体 150 万円を上限とする助成金を交付しました。

エコプロダクツ 2011 への出展



国内最大級の環境展示会「エコプロダクツ」に出展し、オール東京 62 市区町村共同事業及び市区町村の実施している環境施策を発表しました。

ホームページの維持管理

みどり東京・温暖化防止プロジェクトのホームページを随時更新し、本プロジェクトの情報や、市区町村の環境イベント等の情報を提供しています。

市区町村職員共同研修

市区町村職員対象の研修として、「展示イベントプロデュース研修」を実施しました。

体験型一般公開講座



都民を対象に「森林セラピー」を奥多摩町、檜原村で、「フットパス」を町田市で実施しました。

カーボン・オフセットの研究

実践的な研究段階として、参加自治体による個別の検討を進めるとともに、岩手県釜石市の J-VER を共同購入し、各自治体のイベント・会議でオフセットしました。また、自治体向けのガイドブックを作成しました。

みどり体験交流事業



平成 23 年 7 月から 11 月に、子どもたちが東京都内の様々な自然、文化や地球温暖化防止の取り組みを体験し、森との関わりや水と緑の大切さを学びました。

みんなで環境を考える共同行動の実施



平成 24 年 2 月 12 日に、TOKYO EARTH WORKERS collection 2012【みんなで環境を考える共同行動】を開催しました。「環境活動コンテスト」と「クリエイティブコンテスト（アート作品・ミュージック作品）」を行いました。

（仮称）共同行動参加システムの実施設計及び構築



「エコニュース（トピック・環境活動紹介）」「エコアカデミー」等の新たなコンテンツを導入し、現ホームページを「ECO ネット東京 62」としてリニューアルしました。
<http://all62.jp>

オール東京 62 市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」

平成 24 年度事業の概要

CO₂削減につながる活動の普及・省エネルギーの促進・温室効果ガスの排出抑制

■みどりの保全・地球温暖化防止に向けた普及・啓発の推進

- みどりの保全や地球温暖化防止に向けた意識向上や実践行動につなげるための普及・啓発を行います。
- 62 市区町村に共通啓発物品としてのグリーンカーテン用のタネを配布します。

■温室効果ガス標準算定手法の共有化推進

- 62 市区町村共通版の標準算定手法により、62 市区町村の温室効果ガス排出量を算定し、公表します。

みどりの保全と地球温暖化防止対策を推進するための連携体制構築

■各団体の実施する事業との連携

- 62 市区町村の実施する環境イベント等と連携した取り組みを行います。
- 62 市区町村がそれぞれ実施する、みどりの保全・温暖化防止に関する事業に対して、1 市区町村 150 万円を限度として助成します。
- 「チャレンジ25キャンペーン」等との連携を図ります。

■エコプロダクツ 2012 への出展

- オール東京 62 市区町村共同事業及び市区町村の実施している環境活動・施策等を発表するため、エコプロダクツ 2012 に出展します。

■再生可能エネルギーとスマート・コミュニティ研究

- 基礎自治体におけるスマート・コミュニティの可能性について実践的な研究を進めるとともに、研修・見学会等を通じ普及啓発します。

人々が、環境を考え、行動できる場の設定

■みんなで環境を考える共同行動の実施

- 企業や学校、地域関係団体等の環境に係る活動について、審査会（コンテスト）を開催し、それぞれの活動を魅力的に応援し、みんなで環境を考える機運および活動の質を高めます。

■ホームページの維持管理・コンテンツの充実

（「ECO ネット東京 62」⇒ <http://all62.jp/>）

- 62 市区町村の連携をさらに深めるため、事業や活動の紹介等、関係情報の充実を図ります。
- ホームページ「ECO ネット東京 62」を適宜更新し、「エコニュース」「エコアカデミー」等のコンテンツを充実して、みどり東京・温暖化防止プロジェクトの普及・啓発に努めます。

■体験型一般公開講座

- 東京の自然を森林セラピーなどで体験・再発見し、また、「エネルギー」についてのポイントを学び、都民の地球温暖化防止や自然保護に対する意識を養い、さらには、都民の交流を通して環境に配慮した生活や行動を促していきます。

みどり東京・温暖化防止プロジェクトホームページ

「ECO ネット東京 62」

<http://all62.jp>

みどり東京

検索

「シーナ」

「かれん」



「シーナ」と「かれん」は、環境アニメーション「かれんと不思議の森」のイメージキャラクターです。